

2012年夏(6月～8月)の東北地方の天候

- 気温は高かった
- 降水量はかなり少なかった
- 日照時間はかなり多かった

(1) 2012年夏(6月～8月)の天候

太平洋高気圧が日本の東海上で強く、本州付近に張り出したため、夏の気温は高く、日照時間はかなり多くなった。特に、7月下旬頃から太平洋高気圧におおわれて晴れて気温の高い日が多く、東北太平洋側を中心に降水量の少ない状態が8月終わりまで続き、残暑が厳しかった。3ヶ月間日照時間平年比は東北日本海側で127%とかなり多くなり、1946年の地域平均の統計開始以来、多い方からの1位の値を更新した。一方、6月前半は、オホーツク海高気圧が出現し、東北太平洋側では曇りや雨で気温の低い日が続き、東北日本海側では晴れの日が続いた時期があった。6月後半は低気圧や台風第4号、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。7月前半は、天気は周期的に変わり、7月後半のはじめはオホーツク海高気圧の影響で気温が低くなかった。

梅雨入りは、東北南部、東北北部ともに6月9日ごろで、東北南部は平年並、東北北部は平年より早かった。梅雨明けは、東北南部、東北北部ともに7月26日ごろで、いずれも平年並だった。

3ヶ月平均気温は高い。3ヶ月間降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。3ヶ月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

6月：月の前半は、低気圧と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変わった。オホーツク海高気圧が出現し、東北太平洋側では曇りや雨で気温の低い日が続き、東北日本海側では晴れの日が続いた時期があった。月の後半は、低気圧や台風第4号、本州付近まで北上した梅雨前線の影響で曇りや雨の日が続いたが、月の終わりは高気圧におおわれ晴れの日が続いた。

月平均気温は平年並。月降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

7月：この期間、高気圧と低気圧や前線の影響を交互に受け、天気は周期的に変わった。中旬の終わりから下旬のはじめにかけてはオホーツク海高気圧の影響で気温が低くなり、下旬の後半は太平洋高気圧におおわれて気温が高くなるなど、梅雨明けをはさんで下旬は寒暖の変動が大きかった。また6日から8日にかけては低気圧の影響で東北南部を中心に大雨となり、15日から16日にかけては梅雨前線の影響で東北北部を中心に大雨となった。

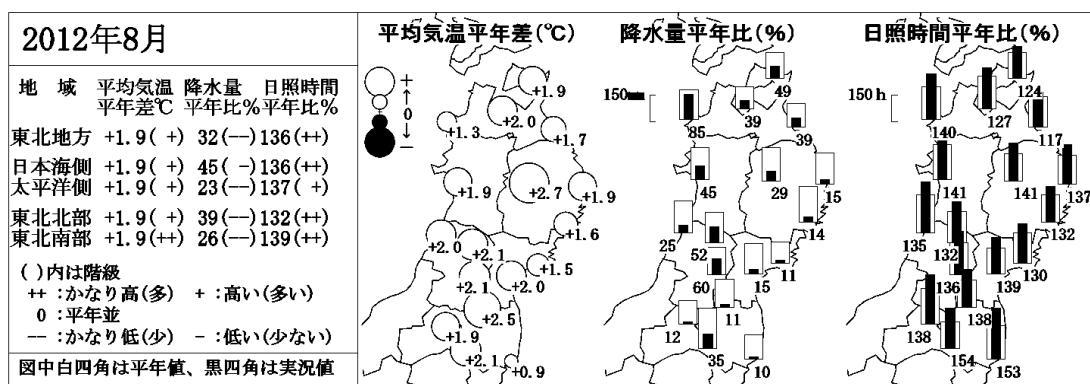
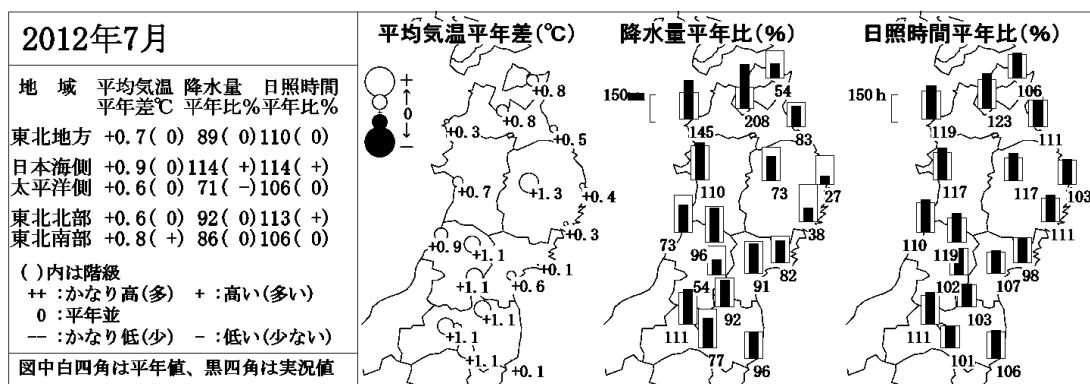
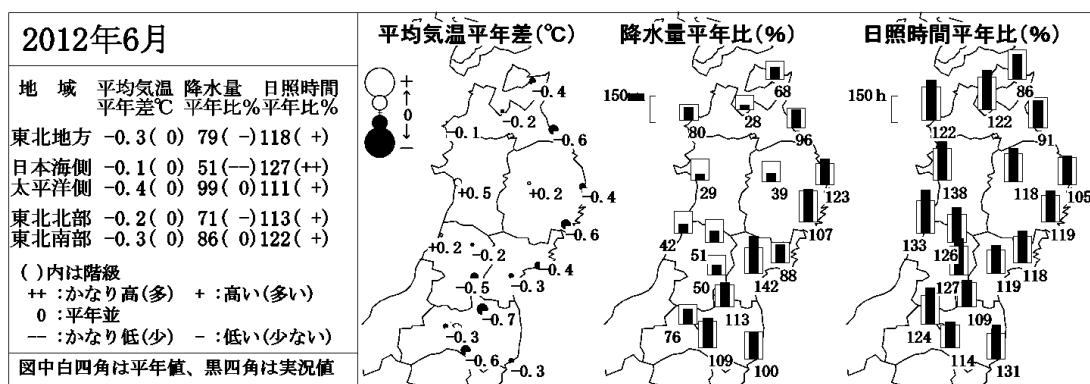
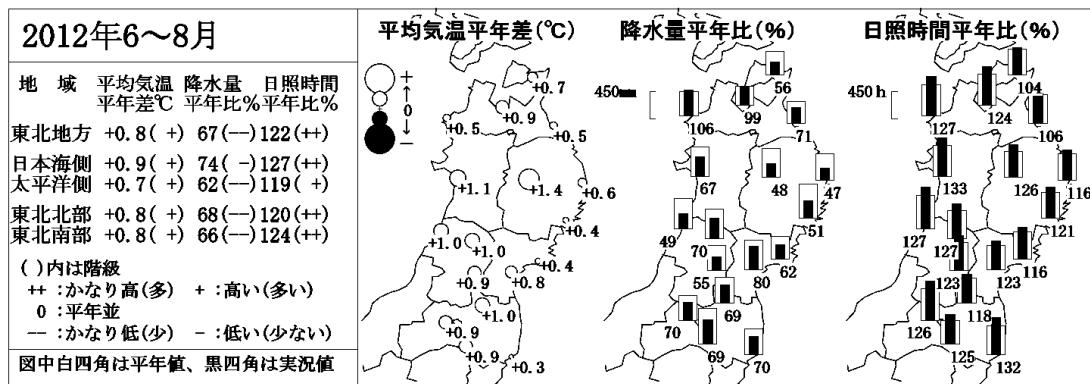
月平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

8月：この期間、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温は高かった。特に月の後半は晴れて暑い日が続いた。13日から14日にかけて東北日本海側を中心に大雨となったほかは、局地的に大雨となった日があったがまとまった雨はなく、降水量は東北太平洋側を中心にかなり少なかった。月降水量平年比は東北太平洋側で23%とかなり少なくなり、1946年の地域平均の統計開始以来、少ない方からの1位の値を更新した。

月平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。月降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は1981～2010年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

(2) 2012年夏(6月～8月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2012年夏(6月～8月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			≥1mm	(h)	
青 森	21.4	(+0.9)	+	311.5	(99)	○	21	642.3	(124)	+
深 浦	21.1	(+0.5)	+	429.5	(106)	○	22	660.4	(127)	+
む つ	19.7	(+0.7)	+	220.0	(56)	-*	19	457.9	(104)	○
八 戸	20.1	(+0.5)	○	265.0	(71)	-	22	511.6	(106)	○
秋 田	23.4	(+1.1)	+	321.0	(67)	-	24	692.2	(133)	+
盛 岡	22.6	(+1.4)	+	230.0	(48)	-*	22	543.5	(126)	+
大 船 渡	20.9	(+0.4)	○	291.0	(51)	-*	29	519.5	(121)	+
宮 古	20.0	(+0.6)	+	211.0	(47)	-*	23	515.4	(116)	+
仙 台	22.4	(+0.8)	+	395.5	(80)	-	22	487.4	(123)	+
石 卷	21.3	(+0.4)	+	235.0	(62)	-*	19	528.0	(116)	+
山 形	23.6	(+0.9)	+	230.0	(55)	-*	24	591.4	(123)	+
新 庄	22.8	(+1.0)	+	342.5	(70)	-	23	585.2	(127)	+
酒 田	23.8	(+1.0)	+	247.5	(49)	-*	23	698.3	(127)	+
福 島	24.0	(+1.0)	+	303.0	(69)	-	23	486.4	(118)	+
若 松	23.8	(+0.9)	+	295.5	(70)	-	23	654.5	(126)	+
白 河	22.3	(+0.9)	+	408.0	(69)	-	33	490.6	(125)	+
小 名 浜	21.8	(+0.3)	○	305.0	(70)	-	19	626.8	(132)	+

(注) 1. 年平値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

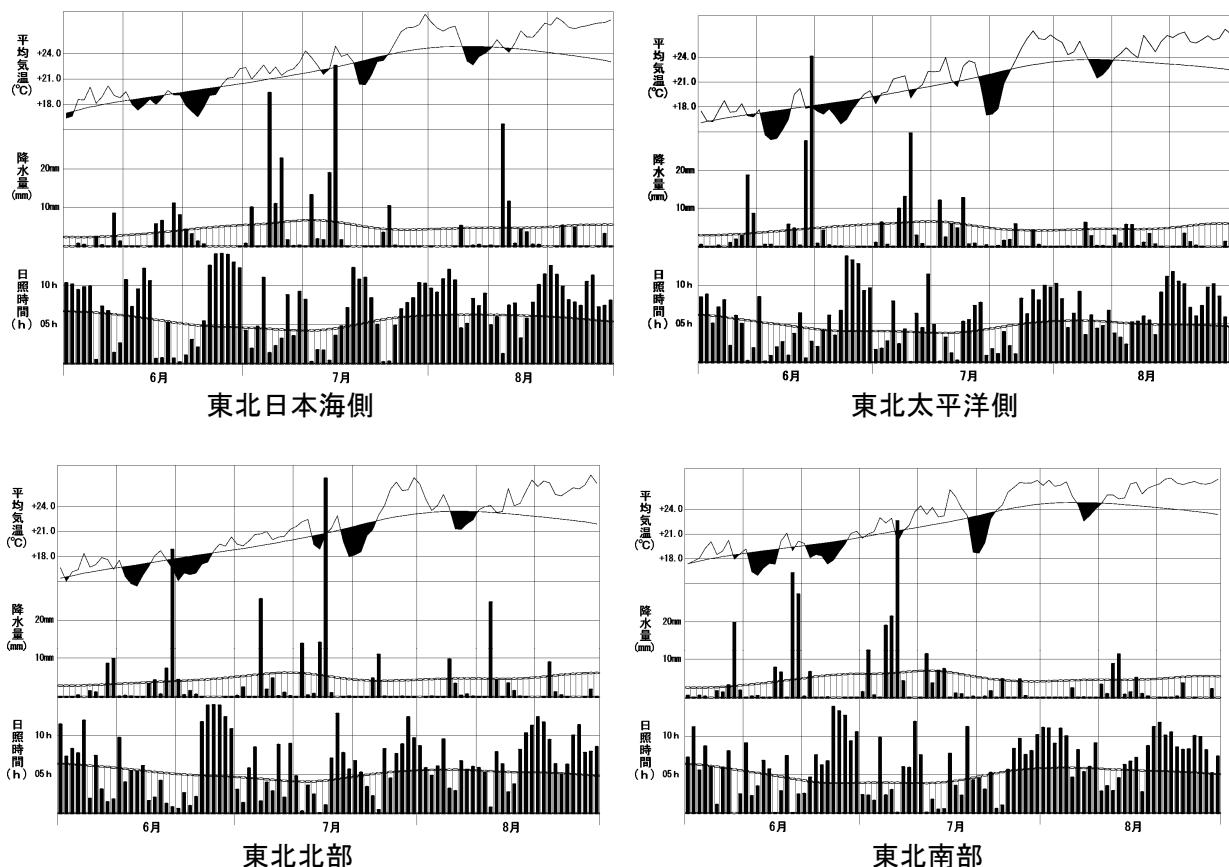
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に)や]がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計月数(統計に用いた、品質が十分な月別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(4) 2012年夏(6月～8月)の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(5) 2012年夏(6月～8月)の極値・順位更新

(3か月平均気温、3か月間降水量、3か月間日照時間の3位以内のみ)

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

3か月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
3	盛岡	22.6 =	+1.4	23.7 (2010)	1924	21.2

3か月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

3か月間降水量多い方からの順位更新

3位以内はなし

3か月間降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	酒田	247.5	49	208.5 (1994)	1937	508.1

3か月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
2	若松	654.5	126	704.5 (1994)	1954	520.4
3	新庄	585.2	127	593.8 (1985)	1958	462.3
	深浦	660.4	127	720.7 (1943)	1940	518.3
	小名浜	626.8	132	697.3 (1978)	1910	475.7

3か月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の1位のみ。)

※極値の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月間日照時間多い方からの順位更新

月	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
8月	白河	223.4	154	215.5 (1985)	1940	145.3
	小名浜	283.2	153	281.9 (1994)	1910	185.7

(7) 2012年夏(6月～8月)の真夏日・猛暑日・日最低気温25°C以上の日数と
今夏の最高気温

	真夏日								猛暑日		日最低気温 25°C以上		今夏(6月～8月)の 最高気温	
	6月		7月		8月		夏						(℃)	(起日)
	今年	平年	今年	平年	今年	平年	今年	平年	今年	平年	今年	平年	35.4	7月31日
青森	0	0.5	6	3.5	12	7.5	18	11.5	1	0.2	0	0.3	35.4	7月31日
深浦	0	0.0	1	1.0	10	4.3	11	5.3	0	0.1	0	0.3	31.7	8月22日
むつ	0	0.1	6	1.8	10	3.9	16	5.8	0	0.0	0	0.0	34.7	* 7月31日
八戸	0	0.6	5	4.6	12	7.0	17	12.2	2	0.5	1	0.4	35.7	7月31日
秋田	1	0.4	4	4.5	21	11.6	26	16.6	1	1.2	4	2.6	35.4	8月31日
盛岡	1	1.0	10	6.0	21	10.9	32	17.9	5	0.5	0	0.1	35.4	8月22日
大船渡	0	0.6	5	3.7	8	5.4	13	9.6	0	0.3	0	0.1	34.6	7月28日
宮古	0	0.6	4	4.1	16	6.5	20	11.2	3	0.3	0	0.0	35.6	8月20日
仙台	0	0.7	9	5.7	21	9.6	30	16.0	0	0.5	5	1.3	33.9	8月17日
石巻	0	0.2	2	2.4	8	4.5	10	7.1	0	0.0	2	0.4	32.0	7月17日
山形	0	2.9	16	11.6	29	17.9	45	32.3	15	3.9	1	0.4	37.2	8月2日
酒田	1	0.8	7	6.4	23	14.5	31	21.6	1	1.7	10	2.8	35.8	8月31日
新庄	2	1.5	9	7.7	25	14.2	36	23.3	7	1.0	0	0.2	36.0	7月31日
福島	1	4.3	16	13.2	29	18.4	46	35.9	18	6.2	11	3.6	37.7	8月2日
若松	0	2.9	14	12.1	29	19.1	43	34.1	18	2.8	0	0.2	36.8	8月2日
白河	0	0.8	12	7.9	25	11.8	37	20.5	3	0.1	0	0.0	36.0	* 7月17日
小名浜	0	0.3	1	2.3	4	4.5	5	7.1	0	0.1	0	0.6	31.7	7月17日

今夏(6月～8月)の最高気温の「*」は日最高気温の1位の値を更新。

(注) 値の横に) がある場合には、日数を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。

(8) 2012年夏(6月～8月)に日本(本土)に接近した台風

今年の台風は、8月31日現在15個発生している。夏(6月～8月)の台風発生数は平年(11.1個)を上回る13個、本土接近数は平年(3.0個)を上回る4個、上陸数は平年(1.6個)を下回る1個だった。

6月13日に発生した台風第4号は、18日に沖縄の東海上を北上、19日に和歌山県南部に上陸し、一旦海上に出た後、愛知県東部に再上陸した。その後北東に進み20日には三陸沖で温帯低気圧に変わった。このため19日から20日にかけては、東北太平洋側を中心に大雨となり、岩手県、宮城県、福島県で日降水量100mmを超えたところがあった。また、石巻で22.4m/s、若松で11.5m/sの日最大風速を観測し、6月の日最大風速の極値を更新した。

今年と平年の月別の台風発生数、上陸数、本土接近数(2012年8月31日現在)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数	今年			1		1	4	4	5					15
	平年	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
上陸数	今年						1							1
	平年						0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0	2.7
本土 接近数	今年							1		3				4
	平年				0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0		5.5

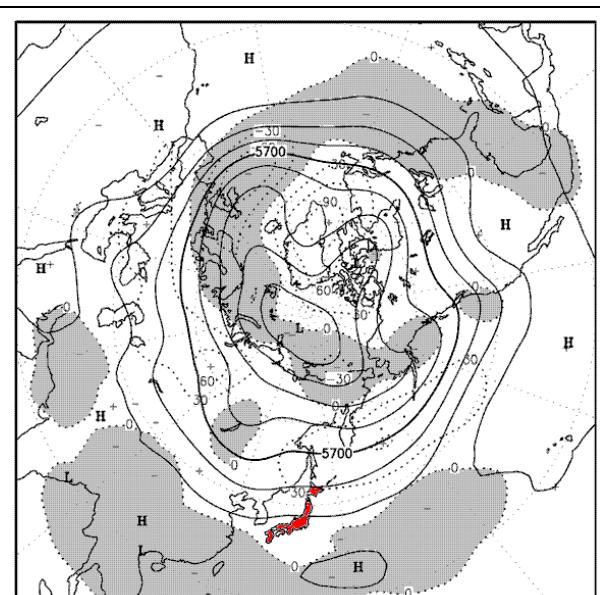
(9) 東北地方の梅雨入り・梅雨明けと梅雨時期の降水量

地域	梅雨入り		梅雨明け		梅雨時期の降水量 平年比(注2)
	今年	平年	今年	平年	
東北南部	6月9日ごろ	6月12日ごろ	7月26日ごろ	7月25日ごろ	仙台 114% 山形 52% 福島 101%
東北北部	6月9日ごろ	6月14日ごろ	7月26日ごろ	7月28日ごろ	青森 137% 盛岡 60% 秋田 79%

(注1) 梅雨は季節現象であり、その入り・明けは平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。このため、時期の表現は「移り変わり」の期間の概ね中日をもって「**日ごろ」としています。

(注2) 東北地方の主な地点における梅雨の時期(6月～7月)の降水量を平年比で示しています。

(10) 北半球の大気の流れ(6月～8月)



6月～8月の平均500hPa高度・平年偏差図
実線は高度(m)、間隔60m。破線は偏差(m)、間隔30m。陰影部は負偏差域。

ユーラシア大陸から北西太平洋にかけての中緯度帯は広く正偏差におおわれた。日本付近は高気圧におおわれやすく、高温となつた。また、オホーツク海付近は気圧の尾根となり、夏の前半を中心にオホーツク海高気圧が現れた。

東北地方では、夏の前半は、天気は周期的に変わり、夏の後半は、太平洋高気圧におおわれ、高温、少雨、多照となつた。